

5. 本時のねらい
 百のくらいの数が1より大きいときの数を（ブロックなどの具体物の操作活動を通して）、書いたり読んだりすることができる。

6. 本時の展開（4 / 10）

	ねらい	学 習 活 動	教師の指導・支援及び留意点		
			T 1	T 2	T 3
つかむ	1. 問題の内容をとらえる。	1. 問題を読み、答えをノートに書く。 ありがとうの字をすう字で書きましょう。  ・ の確かめをする。 	・ 実物（折り紙）を提示し、折り紙と同じ数をブロックで表すように促す。 ・ 100の集まりが1つ、10の集まりが3つ、ばらが7で137であることを確認させる。 ・ 同様に、折り紙の数をブロックで表すようにする。 ・ 正しく操作できているか、机間指導して確かめる。	・ 実物（折り紙）を準備する。 ・ 前時にやった例題を出し、百十いくつの書き方や読み方を確認させるとともに、本時の問題との違いがわかりやすくなるようにする。（1問ではわかりにくい場合は、もう2問ほど提示する。）	
見つける	2. 今までの学習と違って、100の集まりが、2個あることに気づく。	2. 前時までの学習との違いに気づき、課題をつくる。 100のあつまりがいくつあるときの数を書いたり読んだりできるようにしよう。			・ 実物（折り紙）を準備する。 ・ 前時までの既習内容を想起し、違いに気づくようにする。
やってみる	3. 課題をつかむ。 4. 自分の考えた答えを、理由をつけて話す。 5. 100を2個集めた数の表し方と読み方を知る。	3. 課題をノートに書く。 ・ の問題の答えを考えてノートに書く。 4. 答えを交流し合い、なぜそう書いたのかを発表し合う。 5. 100が2個で200と書き、二百と読むことを知る。 百のくらいには、100がいくつあるかを書けばよいことがわかる。 10が2個のときの書き方と、100が2個のときの表し方の違いを比べる。 10が2個なら20と書く。 100が2個なら200と書く。 十のくらいには、10が2個あるから20と書く。 百のくらいにも、100が2個あれば200と書けばよい。 6. 200と30と7を合わせた数の表し方と読み方を知る。 7. 類似問題を考える。 337について、同様にやってみる。 ・ 100が3個、10が3個、1が7個あることがわかる。 ・ 300と30と7を合わせた数を表す。 ・ 書き方と読み方を、図を見ながら確認する。	・ 100の集まりが2つであることをどうやって表すか考えるように言葉かけをする。 （つまずきの予想と手だて） ・ 20037や2307など数の構成が分かっていない子に対して、ブロックやお金をもとに100や10の集まりの数を書くことを考えさせる。 ・ ブロックや位取り板を使用して237の確かめをする。 ・ つまずいている子には100の集まりが3つになったことをブロックで示す。	（つまずきの予想と手だて） ・ 正しく書けるが、なぜそれよいか曖昧な子に対して、100が1個なら百の位に1を書いて100と書いたことを確かめる。そして、100が2個なら、同じように考えて、百のくらいに2を書いて二百と読めばよいことを確かめる。 ・ 位や数を板書に明示しながら視覚的にもとらえさせるようにする。 ・ 半具体物（折り紙）や位取り板（ボックス）を使用しながら、一つ一つを確認しながら進めていく。	（つまずきの予想と手だて） ・ 答えを交流する時、自分の考えを他にわかりやすい子に対して、既習内容を思い出させ、その時の考え方、説明の仕方と同じでよいことを示唆する。
深める	6. 200と30と7を合わせた数の表し方と読み方を知る。 7. 類似問題を解く。	6. 200と30と7を合わせた数を表す。 表し方と読み方を、図を見ながら確認する。 7. 類似問題を考える。 337について、同様にやってみる。 ・ 100が3個、10が3個、1が7個あることがわかる。 ・ 300と30と7を合わせた数を表す。 ・ 書き方と読み方を、図を見ながら確認する。	・ これまでの学習と同様に、百の位には、100がいくつあるか書けばよいことをおさえる。	・ これまでの学習（10までの位取り記数法）と同様に百のくらいには、100がいくつあるかを書けばよいことを確かめる。 ・ 様子を見ながら、場合によっては、みんなで一緒に問題を考え、安心感を持たせてから個々に取り組むようにする。	・ 半具体物や位取り板（ボックス）を使用しながら進めていく。
まとめる	8. 課題についてまとめる。	8. 課題のまとめをする。 ・ 100のあつまりがいくつあるとき、百の位には100がいくつあるか、十の位には10がいくつあるか、一の位には1がいくつあるかを書けばよい。			・ 机間巡視をし、つまずいている児童がいないか確認する。
振りかえる	9. 練習問題を解く。 10. 本時の取り組みを振り返る。	9. 練習問題を解く。 ・ 375の百の位、十の位、一の位の数字を書く。 ・ 次の数を読む。 ・ 581 ・ 720 ・ 304 ・ 600 ・ 次の数を数字で書く。 ・ 四百十三 ・ 九百九十 ・ 六百三 ・ にあてはまる数を書く。 ・ 100を8こ、10を6こ、1を2こあわせた数は、 です。 ・ 960は、100を こと10を こあわせた数です。 10. 反省カードに本時の取り組みぶりをチェックする。	・ 1つ1つみんなと一緒に問題を解いていき、確実に読んだり書いたりできるようにする。		・ 発展学習 ・ カードなどを準備し、楽しく問題を作り出し合えるようにする。

